

# 「岡山大学病院の腎移植症例の検討」へご協力をお願い

—平成21年5月1日～令和12年12月31日までに当科において腎移植を受けられた方へ—

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学分野

|       |                  |          |           |        |
|-------|------------------|----------|-----------|--------|
| 責任研究者 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 講師        | 荒木 元朗  |
| 分担研究者 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 講師        | 和田 耕一郎 |
|       | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 臓器移植センター | 助教        | 西村 慎吾  |
|       | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 医員        | 丸山 雄樹  |
|       | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 医員        | 吉永 香澄  |
|       | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 医員        | 和田里 省吾 |
|       | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 泌尿器病態学分野 | 医員(レジデント) | 関戸 崇了  |

## 1. 研究の意義と目的

末期腎不全とは、腎機能が何らかの病因で完全に廃絶し生命維持が困難となった病態です。末期腎不全の治療法には、透析療法（血液透析・腹膜透析）と腎移植の2種類があります。透析療法では、生体内に蓄積された尿毒素ならびに水分を体外に除去することは可能ですが、造血・骨代謝・血圧調整などに関連した内分泌作用を十分補うことは現在の医療技術では不可能であり、このことが透析療法に伴う合併症発現の原因となっています。腎移植は代替療法として理想的な治療法であり、少量の免疫抑制剤の継続的服用以外は、健常者と同様な生活を送ることができます。今回岡山大学病院泌尿器科の腎移植の症例の成績を検討します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象：

平成21年5月1日～令和12年12月31日までに岡山大学病院泌尿器科において腎移植を受けられた患者様および腎臓を提供したドナーの方

### 2) 研究期間：

平成26年9月開催の倫理委員会承認後～令和12年12月31日

### 3) 研究方法：

腎移植についてカルテから必要な情報（下記参照）を抽出します。得られた情報を統計学的に解析し、腎移植の成績、感染症の発生するリスクや合併症の頻度などを導きます。

### 4) 調査票等：

過去の手術についてカルテから必要な情報（次項参照）を抽出します。得られた情報を統計学的に解析し、腎移植の成績、感染症の発生するリスクや合併症の頻度などを導きます。

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプラバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、身長、体重、原疾患、血液型の適合度、移植前の透析歴

- ・腎移植の通常診療で行われた移植前,後の検査（クロスマッチを含む）
- ・術後の腎機能
- ・拒絶の有無
- ・感染症の有無
- ・生着率（どれだけ移植腎が長持ちしているか）,生存率（どれだけ患者が長生きしているか）
- ・合併症
- ・QOL 調査（移植後の生活の質の調査）
- ・画像診断
- ・生理学的検査
- ・病理学的検査

#### 5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し,その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表,さらなる成績の向上などに役立つ予定で

研究結果の開示につきましては患者様が希望される場合本人に開示いたします。患者様のご家族が希望される場合も開示いたしますので開示を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学分野（岡山大学病院 泌尿器科）

氏名：荒木 元朗

電話：086-235-7287 ファックス：086-231-3986